

令和4年度児童虐待相談対応件数(速報値)の詳細

1 県全体の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の状況

児童相談所と市町を合計した県全体の虐待相談対応件数は過去最多を更新した。

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	増減<R4年度-R3年度>(増減率)
児童相談所対応件数	742	709	729	662	688	+26(+3.9%)
市町対応件数	392	488	431	606	732	+126(+20.8%)
県全体	1,134	1,197	1,160	1,268	1,420	+152(+12.0%)

2 児童相談所の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の内訳

①虐待相談の経路別(主なもの) 警察からの割合が最も高く、約4割を占めた。

	R3年度(構成割合)	R4年度(構成割合)	増減<R4年度-R3年度>(増減率)
家族	57(8.6%)	52(7.6%)	-5(-8.8%)
近隣・知人	24(3.6%)	18(2.6%)	-6(-25.0%)
警察等	234(35.4%)	292(42.4%)	+58(+24.8%)
学校等	178(26.9%)	180(26.2%)	+2(+1.1%)
その他	169(25.5%)	146(21.2%)	-23(-13.6%)
合計	662(100.0%)	688(100.0%)	+26(+3.9%)

②主な虐待者別 実父の割合が増加し、実母の割合は減少した。

	R3年度(構成割合)	R4年度(構成割合)	増減<R4年度-R3年度>(増減率)
実父	261(39.4%)	292(42.5%)	+31(+11.9%)
実母	324(49.0%)	307(44.6%)	-17(-5.2%)
その他	77(11.6%)	89(12.9%)	+12(+15.6%)
合計	662(100.0%)	688(100.0%)	+26(+3.9%)

③虐待の種類別 前年度に引き続き、心理的虐待の割合が約5割を占めた。

	R3年度(構成割合)	R4年度(構成割合)	増減<R4年度-R3年度>(増減率)
身体的虐待	196(29.6%)	216(31.4%)	+20(+10.2%)
ネグレクト	98(14.8%)	112(16.3%)	+14(+14.3%)
性的虐待	8(1.2%)	12(1.7%)	+4(+50.0%)
心理的虐待	360(54.4%)	348(50.6%)	-12(-3.3%)
合計	662(100.0%)	688(100.0%)	+26(+3.9%)

④被虐待者の年齢別 前年度に引き続き、小学生の割合が最多となった。

	R3年度(構成割合)	R4年度(構成割合)	増減<R4年度-R3年度>(増減率)
0~3歳未満	100(15.1%)	73(10.6%)	-27(-27.0%)
3~学齢前	156(23.6%)	151(22.0%)	-5(-3.2%)
小学生	253(38.2%)	278(40.4%)	+25(+9.9%)
中学生	102(15.4%)	130(18.9%)	+28(+27.5%)
高校生・その他	51(7.7%)	56(8.1%)	+5(+9.8%)
合計	662(100.0%)	688(100.0%)	+26(+3.9%)